

# 指定管理者制度活用事業 評価シート

## 1. 基本事項

施設名称	王禅寺四ツ田緑地	評価対象年度	令和6年度(初年度)
事業者名	・事業者名 特定非営利活動法人国際自然大学校 ・代表者名 理事長 佐藤 初雄 ・住所 東京都狛江市岩戸北4丁目17番11号	評価者	グリーンコミュニティ推進室 保全緑地・協働推進担当課長
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日	所管課	建設緑政局グリーンコミュニティ推進室

## 2. 事業実績

利用実績	<p>令和6年度 【王禅寺四ツ田緑地】 ○年間延べ利用者数4,107人 〔一般開放(土日祝781人、平日47人)、団体予約利用2,164人、四ツ田整備隊111人、主催事業1,004人〕 ○年間延べ利用日数152日 〔一般開放(土日祝50日、平日14日)、団体予約利用62日、四ツ田整備隊16日、主催事業10日〕 【その他の緑地・公園等における利活用事業】 ○参加者数 延べ約500人 ・川崎区(田島ふれあい公園) 約160人 ・幸区(御幸公園) 約80人 ・中原区(今井小学校) 約100人 ・高津区(久末小学校、久末小貝谷特別緑地保全地区) 約60人 ・宮前区(南野川特別緑地保全地区) 約100人 ・多摩区(東生田緑の保全地域) ※雨天中止</p>
収支実績	<p>令和6年度 ○収入 22,875,010円 (指定管理料収入 21,890,000円、その他収入 331,950円、自主事業収入 653,060円) ○支出 20,334,993円 (維持管理運営経費支出20,032,312、自主事業経費支出 302,681円) 【収支差額】2,540,017円</p>
サービス向上の取組	<p>・指定管理初年度ではあったが、令和3年度運営業務委託から指定管理者が継続して携わっており、これまでの経験・専門性を活かし、維持管理業務や利活用運営業務を滞りなく、問題なく対応した。 ・ホームページについて、令和5年度運営業務委託時のものから新しく作り直し、カレンダー機能を活用し、利用可能日が確認しやすく、問い合わせフォームと団体利用予約専用フォームを掲載することで、いつでも質問や予約が可能となり、利便性を向上させた。また、インスタグラム、フェイスブックのSNS媒体を活用し、2日に1回程度のペースで配信し、積極的に広報活動を行い、四ツ田緑地の魅力発信に努めた。 ・暑さ対策として、暑さ指数(WBGT値)計や持ち運びのできるミストシャワー等設置のほか、終日日陰となるような場所を定期的に整備した。また、雨天時の緊急一時避難対応として、シートを使った簡易屋根の設置を行うなど、利用者のサービス向上に努めた。</p>

## 3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	1 利用者満足度調査を適切に実施しているか	10	3	6
		2 利用者満足度は向上しているか			
		3 調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果	4 事業実施による自己評価が適切に行われているか	8	3	4.8
		5 当初の事業目的を達成することができたか			
<p>(評価の理由)                      ・草地広場入口にアンケートコーナー(二次元バーコードによる案内)を設置し、利用者に回答の協力依頼を積極的に行うとともに、スタッフ間で利用者への声掛けを徹底した結果、アンケート項目以外の要望等も把握でき、速やかに対応できた。                      ・約950人の参加があった「自然体験フェスタ」において、アンケートを実施し、「とても楽しかった」が16.3%、「満足」が83.7%で、概ね高評価であった。また、約6割が「初めて」の来場であり、新規の来場者に利用していただくことで、認知度を広げることができた。                      ・「自然体験フェスタ」では前年度よりも多くの人が参加し、運営も地元ボーイスカウトや有志団体がブース出展し、大学生のインターンをスタッフとして配置するなど、関係団体等多様な主体を巻き込んで実施できた一方で、通常時の自主事業として用意していた「里山メンマづくり」や「よっだ染め物クラブ」などのプログラムにおいては利用が少なく、次年度以降は広報など工夫する必要がある。</p>					
収支計	効率的・効果的な支出	6 計画に基づく適正な支出が行われているか	9	3	5.4
		7 支出に見合う効果は得られているか			
		8 効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
収入の確保	9 計画通りの収入が得られているか	3	3	1.8	

画・実績	適切な金銭管理・会計手続	10 事業収支に関して適正な会計処理が為されているか	4	3	2.4			
	(評価の理由) ・金銭管理・会計手続について、計画に基づき、毎月の収支状況を本部担当者がチェックするなど、適正に行われている。 ・職員、保全ボランティアの四ツ田整備隊などがナラ枯れ等樹木や竹の伐採等、自前で処理することで、業務委託費(樹木剪定委託費)の経費を節減した。 ・効率的・効果的な支出について、計画に基づき、新規に消耗品・備品を購入する際は、必ず相見積もりを行ったうえで購入を進めるとともに、再利用が可能な備品に関しては、効率的に活用しながら適切に維持管理されている。							
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	11 提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	8	4	6.4			
		12 サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか						
		13 利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか						
	業務改善によるサービス向上	14 実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	8	3	4.8			
		15 業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか						
		16 業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか						
	利用者の意見・要望への対応	17 利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	4	6.4			
		18 意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)						
		19 利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか						
	自主事業の実施状況	20 施設利用者のサービス向上につながる自主事業を実施しているか	4	2	1.6			
21 施設利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか								
(評価の理由) ・団体予約利用の際は、参加団体の年齢と人数に応じて、必ず保全活動(落ち葉掃きや薪割り、道路の泥かきなど)を行い、保全と利活用を組み合わせたプログラムを計画、実施することができた。 ・「自然体験フェスタ」のイベントチラシを近隣の麻生区、多摩区などの小学校に配布し、積極的に広報することで、地元住民に四ツ田緑地を知ってもらうよい機会となったほか、緑地のない南部の小学校校長会の場をお借りして積極的に四ツ田緑地を広報した。 ・通常、一般開放は毎週1、2回程度であるが、3月は「お花見ウィーク」と称して、1週間続けて開放日とし、併せて、キッチンカーを出店させるなど柔軟に対応することで、通常より多くの来場があった。 ・市制100周年事業「全国都市緑化かわさきフェア」のコラボイベントとして、緑地で草木染めのガーランドを地域の参加者と作成し、緑化フェアを積極的に周知するとともに、等々力緑地会場で四ツ田緑地を紹介することができた。 ・利用者のニーズに対して、その場で対応できることはすぐに対応し、その場で対応できないものについては、持ち帰り検討のうえ、次回以降のイベント等で反映させるなど柔軟に対応した。 ・緑地開放日は利用者に積極的に声を掛けるよう、スタッフ間で徹底し、来園の目的や緑地への要望、不満点や苦情、今後期待することなど生の声を積極的に拾い、利用者のニーズ把握に努めた。 ・利用者以外の周辺住民や企業等からの苦情等についても、所管部署と速やかに情報共有を行い、対応策を検討し、迅速に対応した。 ・自主事業として、①開放日特別プログラム、②団体・学校向けプログラム、③団体利用を計画し、一般参加可能な①では、メンマづくりや染め物イベントを実施したが、どれも参加者は数名であったため、プログラムのニーズを把握するとともに、周知についても検討する必要がある。								
組織管理体制	適正な人員配置	22 必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	6	3	3.6			
	連絡・連携体制	23 定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか						
	再委託管理	24 再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか						
	担当者のスキルアップ	25 業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか						
	安全・安心への取組	26 事件・事故、犯罪、災害から利用者を守るができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)				4	3	2.4
		27 緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか						
	コンプライアンス・個人情報	28 個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか				2	3	1.2
職員の労働条件・労働環境	29 スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	2	3	1.2				
環境負荷の軽減	30 環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	2	3	1.2				

	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに常勤職員(事業担当)を1名配置することで、その他の緑地等でのプログラム提案やイベントの企画運営を、四ツ田緑地開放日と併用して行うことができた。</li> <li>自然体験活動指導技術研修や刈払機安全講習、個人情報・ハラスメント研修等を開催し、職員のスキルアップにつなげた。</li> <li>常勤職員・非常勤職員全員を対象に、安全管理研修と称して、緊急対応マニュアルの確認を行ったほか、常勤職員向けにはMFA救急救命講習を実施した。</li> </ul>				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	31安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	4	4	3.2
	管理記録の整備・保管	32業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。	3	3	1.8
	清掃業務	33施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	3	3	1.8
	警備業務	34施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	3	3	1.8
	植栽管理	35施設内及び外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか	4	4	3.2
	備品管理	36設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	3	3	1.8
	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地内の危険箇所、注意が必要な箇所の把握のため、ハザードマップを作成し、毎月敷地内を点検するとともに、危険な箇所には立ち入り禁止看板を設置するなど、利用者に周知し、安全な利用環境を整えた。</li> <li>ナラ枯れや立ち枯れなどの理由により、職員と保全ボランティア四ツ田整備隊がコナラやサクラ、カシ系の樹木を伐採し、薪や土留め、丸太椅子、クラフト材などに加工し、積極的に有効活用するとともに、活動の内容をSNSで報告し、保全活動を積極的に広報した。</li> </ul>				

#### 4. 総合評価

評価点合計	64	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### ※評価ランクの適用基準

評価ランク	適用基準 (評価点合計)
A	総合評価の結果、特に優れていると認められる。(80点以上)
B	総合評価の結果、優れていると認められる。(70点以上80点未満)
C	総合評価の結果、適正であると認められる。(60点以上70点未満) ※標準点
D	総合評価の結果、改善が必要であると認められる。(50点以上60点未満)
E	総合評価の結果、問題があり適切な措置を講じる必要がある。(50点未満)

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理制度の業務管理運営が初年度であったが、指定管理者の専門性が発揮され、また、令和3年度からの業務委託の経験を踏まえ、概ね適正かつ安定的に管理運営が行われたことは評価できる。</li> <li>広報について、配布チラシ等紙媒体の他、ホームページのリニューアルをはじめ、インスタグラムやフェイスブックのSNS媒体を通じて、イベント情報や四ツ田緑地での取組状況等を随時掲載するなど、外部に向けてPRしていることは評価できる一方、参加者が少ない企画事業もあり、広報の仕方やターゲットに合わせた企画内容など、アンケートや現地での生の声などを分析し、検討していく必要がある。</li> </ul>
--

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度(初年度)の維持管理運営を通じて得たノウハウや課題等を適切に振り返り、今後のサービス向上に努めること。また、積極的に利用者アンケートを実施するなど、多くの機会を通じて、利用者の声を収集し、寄せられた意見や要望等に対して改善を講ずるなど、より質の高いサービスの提供に引き続き取り組むこと。</li> <li>自主事業等を通じてより多くの集客を確保しつつ、指定管理者としての専門性を活かし、市民のために意義のある施設となるよう、管理運営に当たること。</li> </ul>
--